

「タンポポ調査・西日本2010」実行委員会 第11回スタッフ会議報告

【日時】 2010年10月2日(土) 午後1時～5時

【場所】 大阪自然環境保全協会事務所

【出席者】 布谷(滋賀)、鈴木(兵庫)、伊東・高島・木村・宮田・佐藤・酒井・南・加藤(大阪)、久保田(奈良)、村田・今村(京都)、末広(香川)、小川(徳島)、井上(島根)、有川(鳥取)、松井・山本(愛媛)、横山・河端(福井)、藤川(高知)・狩山(岡山)、上赤(佐賀)
以上、14府県24名(欠席の府県：和歌山・三重・広島・山口・福岡)

【司会】 高島(大阪自然環境保全協会)

【記録】 木村(同)

【案件】

(1) 前回スタッフ会議の報告(第10回スタッフ会議報告2010.7.3参照)

① 日時 2010年7月3日(土) 午後1時～4時半

② 場所 倉敷市立自然史博物館

③ 出席者

- ・実行委員：布谷(滋賀)、鈴木(兵庫)、伊東・高島・木村・宮田(大阪)、久保田(奈良)、村田・今村(京都)、末広(香川)、小川(徳島)、井上(島根)、松井・川又・橋越(愛媛)、横山(福井)、藤川・坂本(高知)・狩山(岡山)、以上12府県19名
- ・一般参加(第1部 サンプル検討会のみ)：木下・稲神・松村・溝手・島岡(浩恵・健)
・森下(裕和・裕子)・木村・入江・可児・日朝(倉敷市立自然史博物館友の会12名)

④ 主な案件

第1部 サンプル検討会(13:00～14:35)

- ・各府県の2010年調査の概要—推定サンプル数合計：約55000、処理済み：約17000
- ・サンプル検討会—各地で採取されたタンポポのうち、同定が困難な標本を持ち寄り、種類の判定をした。
- ・他府県のサンプル交換会—各府県事務局へ送られてきたサンプルのうち、他府県で採集されたサンプルを交換。今年は採集地点の住所の府県での処理が原則。

第2部 第10回スタッフ会議(14:45～16:30)

- ・サンプル処理・データ入力方法の確認(変更点を中心に)
- ・今後のデータ解析について—データ入力・瘦果の送付締切り：8月末日→本調査結果について信頼性をチェックして問題のあるデータは各府県で再検討→府県別の基礎的なデータ解析(クロス集計・種類別分布地図)。その後、予備調査結果と合計。
- ・調査報告書・カラーチラシの作成について：3月5日の報告会までには完成。
- ・実行委員会予算について—現時点での会計報告、花博協会の助成金の活用
- ・その他の検討事項(ホームページ・メーリングリスト・各府県の活動報告)
- ・今後のスケジュール・当面の予定の確認

(2) 各府県の調査サンプル数(2010.9.29 現在)

① 現時点での処理済みデータ数

- ・9月29日時点での2010年調査の有効サンプル数は、52075、7月に報告していただいた推定サンプル数と比較すると、3つの府県(京都・兵庫・福岡)で未処理のサンプルが残っていると考えられ、これらを合わせると、55000程度には達するだろう。昨年度の予備調査での有効データ：約21500と合計すると、約76000くらいになると予想できる。

番号	府県	本調査 2010.9.29		本調査 2010.7.3		予備	合計	備 考
		有効数	未処理	処理済	推定数	有効数		
18	福井	537			500	431	968	
24	三重	1846		1836	1836	733	2579	
25	滋賀	1567		1589	1589	936	2503	
26	京都	231	1700?		2000	674	905	未処理あり
27	大阪	5167		1970	4000	1340	6507	
28	兵庫	1706	3300?	500	5000	4102	5808	未処理あり
29	奈良	1474			1050	963	2437	
30	和歌山	2069			2000	822	2891	
31	鳥取	2240			2000	240	2480	
32	島根	2232			2000	731	2963	
33	岡山	5484		2200	5500	2883	8367	
34	広島	2872			2350	419	3291	
35	山口	1035			700	0	1035	予備調査 2471 は頭花なし
36	徳島	6173		500	6000	1164	7337	
37	香川	5984		4700	5800	2413	8397	
38	愛媛	5306		1400	5500	2599	7905	
39	高知	5083		5144	5144	1101	6184	
40	福岡	452	750?		1200	0	452	未処理あり
41	佐賀	397			440	0	397	
合計		52075	5750?	17639	54609	21553	73628	

*今回のデータ処理

- ・各府県到着データから、無効データ・他府県データを除外して集計
- ・頭花が無くてタネが添付されたデータは（仮に）有効として集計→西日本全体の処理では無効とする（各府県の処理では府県毎に判断）
- ・頭花なし・タネなしデータは無効として除外
- ・全域有効データ：51944＋他府県データ：59＋無効データ：718＝全データ：52721

② 今後のサンプル処理・データ入力について

- ・未処理のデータ処理は、報告書作成の日程を考慮して、10月末日までに必ずお送りください。なお、追加のデータや、すでにお送りいただいたデータの修正も、10月末日までにお願います。なお、データの修正は、修正部分がわかるように朱書きにするなどして、別のファイルでお送りください。
- ・他府県で採取されたサンプルのデータは、今年度分については、今後は「外来種やカンサイタンポポなど」、同定に問題がない場合は、データを送付して、相手の府県の事務局の確認を取ることにより、新しい整理番号はつけずに処理してください。
- ・なお、昨年度の分も同様にしますが、判別が困難な種について、問題があればサンプルも確認することとし、できない場合は不明扱いとする。

(3) 今後のデータ解析について

*未入力データの入力・送付データの修正の締切り：10月31日（日）

西日本事務局まで、添付ファイルでお送りください。（なお、修正については修正したものだけをお送りください）

*瘦果の送付締切り：10月31日（日）

- ・送付先住所：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪市立大学 理学研究科 植物生態学研究室 伊東 明 宛
- ・送付数：全サンプル、または、セイヨウタンポポ>200、アカミタンポポ>100

- ① 予備調査報告書に収録した主な解析データ
 - ・各府県の種類別・生育環境別・総苞外片の状態別などの地点数(クロス集計)
 - ・3次メッシュでの種類別分布地図(3次メッシュ4個分の分布地図)
- ② 今回はどのような解析を行うか
 - 1) 本調査結果について、まず、各府県で入力後にできるだけミスのないようにチェックを行うこと。その後、事務局のアドレスへ添付ファイルで送付。
 - 2) 昨年同様に本調査結果の信頼性(緯度経度やメッシュ番号のチェック・・・海上や他府県など)をチェックして、問題のあるデータは各府県で再度検討する。
 - 3) その後、府県別の基礎的なデータ処理を行なう。
 - ・基本マップの作成：3次メッシュでの種類別分布地図
 - ・各府県の種類別・生育環境別・総苞外片の状態別などの地点数(クロス集計)
 ＊本日はここまでのデータを報告、昨年度の予備調査結果と比較
 - 4) それ以外のデータ処理について・・・昨年度の議論を踏まえて検討。
 - ・在来種と外来種の分布を同じメッシュに表示した地図(小川氏作成)
 - ・外来種(雑種を含む)の比率を示す地図
 - ・2次メッシュでの分布地図や比率を表す地図
 - ・その他
- ③ 解析における種の区別 (別紙資料参照)
 - ・内部での解析において
 - ・報告書で取り上げる種の区別
- ④ 雑種の解析について (大阪市大・伊東氏)
 - ・各府県から送られてきた瘦果のサンプルをもとに、葉緑体DNAの解析を行い、雑種か純粋な外来種かを識別し、各府県別の雑種タンポポの比率を算出する。
 - ・また、葉緑体DNAの解析は、瘦果を播種して得られる実生ではなく、瘦果から直接可能になったので、冷蔵保存は不要。
 - ・原則として、全サンプルを送ることとするが、残しておきたい場合は、一部のサンプルのみでもよい。ただし、その場合はサンプルに地域的な偏りがないようにし、また、総苞外片の反り返る状態が様々なタイプのものが適度に混ざるようにすること。
 - ・送付する数は、セイヨウタンポポ(雑種を含む)：200サンプル以上、アカミタンポポ(雑種を含む)：100サンプル以上。 →これから、各府県ごとにセイヨウタンポポ100、アカミタンポポ50ずつは解析をしたい。
 - ・現時点では、約半数の府県から送られているが、まだの府県は締切までにお送りください。
 - ・雑種の解析結果については、整理番号毎に整理して、各府県にも報告する。

(4) 調査結果の集約と報告書の作成

- ① 調査報告書の作成について
 - 1) 形式
 - ・前回の近畿での2005年調査の報告書に準じる。
 - ・A4判、120ページ程度(?)。1500～2000部(各府県50部ずつとしても1000部必要、すでに申し込みが約100部)印刷、
 - ・HPにもカラー版をアップする。
 - ＊予算については、大阪自然環境保全協会からの助成金100万円と、花博協会からの助成金の一部を充てる。いくつかの印刷業者に見積もりを取っている。
 - 2) 今後の予定
 - 10月 2日(土)：第11回スタッフ会議、目次案・執筆分担の決定

- 1 2月18日(土)：第12回スタッフ会議、一次原稿締切り→編集作業
 2011年1月11日：2次原稿締切り→編集作業
 2月 1日：印刷業者渡し→中旬校正作業→2月末日納品
 3月 5日：報告会で配布

3) 目次案 (カッコ内は執筆担当者)

<p>1. はじめに(調査の目的・意義)</p> <p>①先行調査・研究の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分類学的研究史 (小川・鈴木・藤川) ・西日本におけるタンポポ調査の経過 (事務局) <p>②目的 (布谷・木村)</p> <ul style="list-style-type: none"> *用語について (小川) <p>2. 調査方法 (事務局)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 調査の経過と組織体制 (*組織と実行委員の名簿を含む) 2) 調査方法 (*調査用紙とサンプル処理マニュアルを含む) 3) 解析方法 <p>3. (全体的な) 調査結果と考察</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 調査サンプル数 (事務局) 2) タンポポの種類と分布 <ol style="list-style-type: none"> ① 検索表 (鈴木) ② 種の解説と分布 (鈴木) ③ 府県ごとのタンポポの割合 (小川) ④ 生育環境別のタンポポの分布状況 (事務局) ⑤ 総苞外片・花粉の状態について (事務局) ⑥ タンポポから見た自然環境 (事務局) 3) 雑種タンポポについて (伊東・名並) <p>4. 各府県別の調査報告 (各府県4ページ×19=76)</p> <p>5. 調査参加者の感想 (各府県10件程度抜き出してお送りください。事務局で集約)</p> <p>6. おわりに (布谷・木村)</p> <p>7. 主な参考文献 (事務局で集約←各府県より)</p> <p><巻末参考資料></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査参加者・主な調査協力者 2. 文献目録・マスコミ報道一覧 (主な新聞記事は収録) <p>著者一覧 (本文中でも良い) ・奥付け</p>

② カラーチラシについて

1) 形式

- ・予備調査時に作ったものに準じる。A3判両面印刷(4ページ)
- ・印刷枚数：少なくとも4～5万枚、印刷費用：枚数によるが1枚8～10円程度
- *各府県で2000枚までは希望する枚数を配布、それ以上必要な府県については事前に予約を取って、必要な追加予算を負担していただく形で増刷する。

2) 内容

- ・西日本のタンポポの種類と分布マップなど、調査結果の集約。
- ・担当・原案作成：鈴木氏

3) 今後の予定

- ・12月18日(土)：一次原稿締切り→意見交換→1月末日：二次原稿締切り

③ その他の報告・・・予定があれば報告ください

- ・12月11日(土) 市民参加型生物調査に関するシンポジウム?(琵琶湖博)
- ・2月(?) 西日本の博物館ネットワークの総会 (一部の結果を報告)

- ・ 3月5日(土) 西日本実行委員会の報告会（於大阪市大梅田）
- ・ これ以降は、中心となる発表者が、連名での発表の際には、関係者の了解を取って発表すること。データについては、「タンポポ調査・2010西日本実行委員会」による調査結果に基づくものである旨を明記すること。また、必要に応じ、花博協会や大阪自然環境保全協会の助成金を受けたことを明記してください。
- ・ また、今回の調査データを利用して発表された場合は、記録に留めておきたいので、MLで皆さんに流していただくか、事務局へご連絡ください。

(5) 実行委員会予算について（前回報告分+会計の宮田氏より当日報告）

① 収入（2010年6月末日現在）

- ・ 収入：前回調査の残金(29万円)+下表の助成金（計236万円）+伊東氏の助成金(60万円)+報告書前金(約19万円)など

助成団体	金額	期間	申請	備考
1 西日本博物館ネット	10万円	1年	鈴木	6万円を事務局へ
2 武田科学振興財団	30万円	2年	木村	助成期間は2年間
3 花の万博協会	100万	1年	鈴木	支出の半額を助成
4 大阪自然環境保全協会	100万	1年	木村	主として報告書印刷

② 今後の支出予定

- ・ 3月5日報告会の会場費(大阪市大文化交流センター)：
- ・ 調査報告書印刷費と事前申し込み者や各府県事務局への郵送費
- ・ カラーチラシの印刷費用・郵送費
- ・ 各府県への活動助成（各府県3万円×19）
- ・ 余裕があれば、3月5日の発表者の旅費など

③ 花博協会の助成金の使途について

- ・ 1府県につき、3万円（×19＝57万円）まで可能。ただし、領収書が必要。
- ・ 領収書の品目は調査やデータ処理に必要な文房具などの消耗品
- ・ 交通費については、領収書があればそれを提出、ない場合の近郊区間については、別紙のような書式での提出や、自家用自動車利用もガソリン代領収書と移動区間+燃費の一覧表」でもOKです。
- ・ 賃金については、「データ入力」とし、1日：8時間6000円で申請しているので、1日：6000円か、半日：3000円、1時間800円で個人名(印)の領収書を作成してください。（書式は後日添付ファイルで送信）
- ・ スタッフ会議の2週間前までに、西日本事務局(大阪自然環境保全協会)あてに領収書などをお送りいただければ、会議当日支払うことが可能(または、口座番号を連絡いただくと送金します)。

(6) そのほかの検討事項

① 「タンポポ調査・西日本2010」実行委員会のホームページについて

- ・ スタッフ会議終了後、本調査の府県別調査数や会議報告をアップ。
- ・ 報告書作成までに速報的なデータを紹介
- ・ 3月5日の報告会以後、報告書をアップ。

② メーリングリストについて（前回報告分）

- ・ 実行委員会用のMLは活用されているが、一般用のMLは書き込みが少ない。
- ・ 簡単なタンポポの話題でもいいので、活発に書き込みをお願いしたい。
- ・ 調査結果の概要もスタッフ会議で了解されたものを順次流していきたい。
- ・ 調査終了後もこのままにしておくか、いったん、中断するかは今後検討。

③ 各府県で実施した観察会・説明会、及び、各府県・ブロック別にマスコミ報道などをまとめてお

きたいので、各府県事務局からご連絡ください。

- ・ 観覧会・説明会：日時・場所・参加者数・概要
- ・ マスコミ報道：掲載月日(または、放映時刻)・社名・記事見出し名など、できるだけ記事のコピーかPDFをお送りください。これらは、報告書にまとめて資料として掲載するので各府県別にまとめてお送りください。

(7) 今後のスケジュール

2010年10月2日(土)	第11回スタッフ会議
10月31日(日)	データの入力・修正の締め切り
10月～11月	データ解析(全体・各府県別)・報告書原稿の執筆
12月18日(土)	第12回スタッフ会議：報告書原稿締め切り
2011年1月11日(月)	報告書2次原稿の執筆締め切り→編集作業
1月末日	最終原稿の提出→印刷業者渡し→校正作業
2月12日	第13回スタッフ会議
2月末日	報告書発行予定
3月5日(土)	調査結果報告会(於 大阪市大文化交流センター)
3月末日	助成金の事業報告・会計報告

<当面の予定>

① 第12回スタッフ会議

- ・ 日 時：12月18日(土) 午後1時～4時
- ・ 場 所：大阪自然環境保全協会
- ・ 内 容：データ解析・報告書一次原稿とカラーチラシの原稿検討・報告会の次第

② 第13回スタッフ会議

- ・ 日 時：2月12日(土) 午後1時～4時
- ・ 場 所：大阪自然環境保全協会
- ・ 内 容：報告書・カラーチラシの最終校正・報告会の打ち合わせ
(次第と役割分担)

③ 「タンポポ調査・西日本2010」調査報告会

1. 日時：2011年3月5日(土) 午後1時受付開始、1時半～4時
 2. 場所：大阪市大文化交流センター(大阪駅前第2ビル6階研修室)
 3. 内容：
 - ・ 講演「タンポポ調査について」(講師を招く予定で折衝中)
 - ・ タンポポ調査2010の調査報告(3～4名?：近畿・中国・四国?)
 - ・ 質疑応答
- *アクセス：JR東西線「北新地駅」より1分、「大阪駅」より3分
地下鉄「西梅田駅」・「東梅田駅」より3分
阪神「梅田駅」より2分、阪急「梅田駅」より7分